

三井住友海上と国際大

地域活性、人材育成へ協定

三井住友海上火災保険・沖縄で初めて。

（東京都）と宮崎国際大（山下恵子学長）は3日、地域活性化や人材育成に関する包括連携協定を締結した。留学生の就職支援、防災や地域企業との交流など幅広い分野で協力し、大学の持つ国際性と企業の知見を生かして地域課題の解決を目指す。同社が大学と包括連携協定を結ぶのは九州

・沖縄で初めて。協定には、キャリア形成に加え、観光や農林業などの地域資源と外国人材の活用、学生や大学のリスキミングメントなど、11項目が盛り込まれている。

7月には、同社に就職した卒業生が損害保険業界や事業内容を紹介する特別授業もあり、こうした縁が協定締結を後押しした。両者

は今後、学生の就職につながる機会の創出や、防災、安全運転など留学生が地域

で暮らす上での課題の解決を、自治体や企業と連携して支援できるよう検討する。



地域活性化などに関する包括連携協定を結んだ三井住友海上火災保険宮崎支店の柴尾哲哉支店長（左）と宮崎国際大の山下恵子学長

締結式で同大の山下学長は「単なる連携にとどまらず、地域社会の課題解決と次世代を担う人材育成を結びつけた、宮崎ならではの産学連携モデルを構築したい」。同社宮崎支店の柴尾哲哉支店長は「大学と地域企業、自治体などを巻き込んだエコシステムをつくるのが、継続的な取り組みにつながる」と話した。

（川畑周平）